

workflow,job,step の使 い分けの基準を考える

Kazuhiro NISHIYAMA

GitHub Actions Meetup Osaka #1
2019/11/26

自己紹介

- 西山 和広
- Ruby のコミッター
- twitter, github など: @znz
- 株式会社Ruby開発 www.ruby-dev.jp

workflow, job, step

- workflow

- 1 YAML ファイル

- job

- ランナー (コンテナなどの仮想環境)

- step

- プログラム

workflow の分割

- トリガーが違えば分割必須
- pull request だけ
- tag push だけ (リリースアクション)
- issue に反応など

workflow の分割?

- CI 環境の違い
- ubuntu と macos と windows で CI
- 次の job で分割でも構わない

job の分割

- 実行環境 (runs-on) が違うときは必須
- matrix で一部の違いはまとめられる
- needs で依存関係
- if で ci skip

step の分割

- 分割必須
 - uses: を使う
 - shell: が違う
- よくあるその他の分割理由
 - ログを分ける

まとめ

- workflow: トリガー
- job: 実行環境
- step: uses やシェル